

文化協会だより

第 18 号

発行日／2021.3.1 編集／加美町文化協会



うめえがすと「鍋まつり」(令和2年2月11日)

2020年という切りのいいこの年に、新型コロナウイルスの蔓延で世界中を震撼させています。国際標準規格を謳歌していた先進国の中でも最も有効なウイルス対策が、じっと家に閉じこもることでした。振り返ってみると、つい10年足らず前に、東日本大震災において人間を超える力をみせつけられました。その後、今度は目に見えない新たなウイルスの出現、日々感染者と死者の数に一喜一憂し、不要不急なる言葉を生み、マスク姿が溢れ、鼻と口を覆った光景が当たり前になりました。予防のワクチン接種が出来るようになっても落ち着くまでは相当時間がかかるものと思われます。また、7月3日からは九州を中心へ降り続いた記録的豪雨で河川が氾濫し多くの被害をもたらしました。

地球全体としてこの対応が求められています。新型コロナで、個人の暮らしはもとより社会のすべての片隅まで大きな影響を及ぼしています。私たちも、甚大な災害は他人事でない地球環境に生活している事を注視せねばなりません

今年度の文化活動のさなぶり大会、文化祭その他の中止、よって、各団体の活動は大きく低迷中です。しかし、憂鬱な気持ちに負けずにポジティブ感情を育てながら、今までにない経験の中、足止めされた新型コロナ対策をしての練習を重ねている団体もあります。活発な活動が出来る日を信じ、文化の担い手であることを自覚し、新時代に賢く順応し、文化活動の未来につなげましょう。

(鈴木 ヨシ子)

会長挨拶



加美町文化協会

会長 伊藤真夫

令和二年度は、「新型コロナウイルス感染予防のため書面による議決したい」とする旨の特例措置を多くの機関・団体において採用した経過がありました。加美町文化協会も例外ではなく、国等の自粛方針に添い、総会議案は会員各位と顔を合わせることもなく書面による決議として頂きました。収束に期待をしながら経過を見守り、事業開始の機会を模索しましたが、例年のさなぶり大会、各地区文化祭、研修会等はすべて計画中止とする残念な一年となりました。

しかし、会員各位には、この一年間が自分を見つめ直す機会となり、持てる特技、能力、会

員の絆等々に磨きをかけ、将来活動に対する貴重な養生期間であつたと前向きにとらえて欲しいのです。また、前向きに考えていくことが如何に大切かを確かめる機会にもなつたと思います。

令和三年度は、傘下百二十団体が必ずやこの閉塞感から脱し、新しい境地で文化活動に取り組むことを期待しています。新年度は、今まで実施保留してきた各事業を実施にこぎつけること、次に文化協会三地区合併二十年に向けて記念誌を発行することになります。記念誌は、令和二年度に編集計画を策定し、三年度は資料収集と編集に着手いたします。

云うまでもなく、芸術、文化は私共の大きな財産であり、共に精進する仲間は人生の宝であります。文化協会の活動を通じ、加美町の一層の和と協調が図られ発展することを期待します。

ここにあらためて、加美町当局の指導に心から感謝をいたします。



町長挨拶

加美町長 猪股洋文

表します。

町といたしましても、皆様方が長きにわたり育まれた文化芸術の灯を絶やさぬよう支援してまいります。

今年は、一年遅れで東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることになっています。これを契機に、障害の有無に係わらず、生き甲斐を持ち、安心して住み続けられるユニバーサルな共生社会の実現に向か、なお一層努力していく所存です。

町では引き続き感染拡大に対して最大限の危機感を持ち、皆様の暮らしと生業を守るための対策を講じてまいりますので、新しい生活様式を実践いただき、どうか前向きなお気持ちでお過ごしください。

結びに、本誌発刊にご尽力いただいた編集委員並びに関係者の皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ挨拶といたします。

加美町文化協会の組織

加美町文化協会は、加美郡が合併（平成十五年四月一日）した年の七月に合併した。

「受け継いできた歴史や文化、交流事業等を継続的に推進し、文化活動の促進と地域発展を目的とする。」という合併趣旨に基づき今日まで引継ぎ発展させ、町民交流と融和が図られてきている。

今後さらに交流を図り、地域の振興に寄与できるよう会員一同決意を新たにしているところであります。町民皆さん的文化活動に知恵を貸していただけることを期待している。

組織機構（部門別構成）

◆ 邦楽（民謡、詩吟、太鼓、謡曲、三味線、琴、尺八等）
◆ 洋楽（合唱、吹奏楽、ロック、ジャズバンド、カラオケ等）

◆ 伝統芸能（神楽、獅子舞、民族保存等）
◆ 民族歴史（郷土史等）
◆ 邦舞（日本舞踊、仕舞、ヨサコイ等）
◆ 洋舞（バレエ、社交ダンス、エアロビクス、太極拳、体操等）

◆ 文芸（俳句、短歌、川柳等）
◆ 美術（絵画、墨絵、写真、書道、ビデオ、手芸等）
◆ 工芸（彫刻等）
◆ 家庭生活（料理等）

◆ 園芸・将棋
(園芸、将棋)

◆ 茶道・華道
(茶道、華道)



※ 総務部会、事業部会、広報部会の三組織により活動

中新田地区

中新田地区会長

畠山 こすゑ

中新田地区研修会

令和二年十月四日（日）

会場 中新田公民館ホール

演題

「薬萊神社の歴史について」

講師

薬萊神社宮司 大宮 信彦 様

新型コロナ禍での感染防止策の徹底を図つての研修会となりました。

● まず、薬萊神社がどのようにして創建にいたったか。

● 山号を「薬萊山」と称し、医薬の守護、病難退散、壽福招幸の守り神となる。

後に衰微し、護持は困窮を極めたが別当祀官は修驗者の奉仕により神社を合祀し、現在を迎えてのこと。スライド利用の講話でした。

◆ 十月二十七日（火）

五十四代目の大宮信彦様に千二百年続く境内をご案内いただき、立派な神殿にて、疫病退散のお祓いを申し受けて参りました。

（鈴木）

【大宮信彦様の講話】



【薬萊神社境内にて】

日々ご参加、ご尽力、ご協力くださいます。新型コロナウイルスでは、日本全国、地球（人類）の問題としていろいろな行事が中止となり、非常に残念でござります。三密を守りながら生かされて生きている命の尊さを大切にし、生きてほしいと願うばかりでございます。

ここで、踊りの歴史にちょっと触れてみたいと思います。よくご存じの「天照大神」が天の岩戸の前で、アメノウズメの神が桶の上で踊ったのが日本舞踊の始まりと言われています。（神話ですので、まだかではあります）古典舞踊は神楽、室町時代は能舞、江戸時代は歌舞伎、時代に沿って民謡、郷土舞い、新舞踊として「喜怒哀樂」を表現、文化芸術は生活の一部であり、生きている証でもあります。

今後も、役員、会員のふれあいを大切に精進していきたく存じます。文化協会も笑顔と希望をもってコロナに負けず乗り切つてほしい一念（ここころ）の願いでございます。各分野の皆様には今後の活動ご協力くださいをますように。お体に留意し、ご活躍、ご多幸をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

最後になりましたが、加美町のご支援に心から感謝申し上げます。

活動紹介

日本民謡桃隆会中新田支部

私たちの会は、日本の伝統文化を継承していくために、趣味をかねて勉強している会です。

年に一回本部での発表会のほか、各支部対抗の唄合戦もあり、上位に入っています。

加美町の文化祭、さなぶり大会や秋祭りに参加しています。その他各地福祉施設で唄のボランティア活動をやっていますが、大変人気があります。又大きな声で唄うので健康にとてもいいですよ。男女年齢に関係なく、唄の好きな方入会をお待ちしています。

（代表：鈴木 聖志）

加美映像俱楽部

昭和51年11月に中新田町において第11回東北映画祭開催時に8ミリ映画の上映を行いました。その時を機会に結成しました。現在はビデオ及び写真撮影を通じて会員相互の親睦を図り、研鑽と向上に努め、社会、文化の発展に寄与することを目的として現在に至っています。尚、四季折々に写真を貼り替えて、町内「佐々木接骨院」と色麻町「かっぱの湯」に常設展示しております。

いけ花&フラワーアレンジメント

今年47回目となる中新田秋まつりも、コロナウイルス感染拡大により、中止となってしまいました。以前、秋まつりで出品しました作品の写真です。

トライアンギュラーと言って、器の高さは13センチですが、花材の横の長さは40センチ位、高さは50センチ位でとてもいけばえのする作品です。季節を問わず楽しんでいただけます。自宅でいけ花とアレンジメントを教えています。お花がお好きな方は、どうぞ、おこしください。

（主宰：千葉 文子）

扇 和 会

会員も高齢になり、数年前からは踊りの上達ではなく、ぼけ防止の為になる健康体操のつもりでやっております。踊っている時は、足腰や膝の痛みも忘れて気持ちだけは若返る様です。現在新型コロナウイルス禍の中でお稽古も自粛しておりますが、常に会員の和を大切に、踊りを通じて人生が少しでも楽しく元気が出ればと・・・。

これからも、体力、気力のある限り続けたいと思っております。

(3)

小野田地区

小野田地区代表者研修会

◆令和二年九月三十日(水)
会場 やくらい文化センター

文化協会

団体代表者研修会

は、小野田の歴史を町の研究者

から直接聞こうと十七名の参加

で開催された。講師は町の文化

財保護審議会委員として活躍中

の西小野田地区の吉岡善太郎氏

から「中羽前街道の開削につい

て」という題。小野田地区を東

西に貫き鍋越峠を越え尾花沢に

至る国道三四七号線の話。最上

海道とも称された道は藩政時代

には人馬が通れる良く整備され

た交通量の多い街道であつたと

いう。最上海道軽井沢越えは番

所があり山形との重要路線とし

て位置付けられていた。当時仙

台藩では、宮城、山形をつなぐ

街道は、七本のみであり現在の

鍋越峠ルートではなく別の位

置にあつたとい

う。明治になり

何故新ルートを開削することに

なったのか、その

時住民達はどう考え行動した

のか、誰がこの

新開削を決定したのか、機会を

とらえ又勉強していきたい。

(板垣 彦)



小野田地区会員研修会

◆令和二年十月二十八日
会場 やくらい文化センター

会員研修会をやくらい文化セ

ンターで開催した。コロナウイ

ルス感染予防のため、入場者数

や開催時間、検温、マスク着用

などに留意し、三密を避け五十

名に限定して東方落語会を開催

した。小野田出身の落語家、

「今野家もう世」師匠、一門最

年少の妹弟子「今野家ちよす

な」さんの軽妙な大店の小僧さ

んという話。「もう世」師匠は

地元に貢献できればという温か

い配慮のもと東北訛りを見破ら

れまいとした大学時代とか薬来

山の話など故郷への特別の思い

を込めて高座を飾った。地元出

身の活躍している人を対象にお

願いし、文化の継承という我々

の今後を見つめる貴重な高座で

あった。

また、なぜ落語家になつたのか誰もが知りたかった謎を楽しくカミングアウトしてくれた。会場にはお母さんの姿があつた。(板垣 彦)



活動紹介

小野田地区獅子舞保存会

「石神のススメ（獅子舞）」

皆さん、石神の獅子舞はご存じですか？。石神の獅子舞の歴史は戦前です。大宮神社さんの三輪流神楽の中の獅子舞様が師匠ですが戦争でけいこが途絶えてしまったので石神神社独自の獅子舞に仕上がっていきます。

今夏は疫病退散の願いを込めて演舞もしています。

この地域最古といわれる石神神社、そんな神社の獅子舞です。

「かぶづがれに来てね」。やってみたい人募集中

(小野田地区獅子舞保存会会長 松倉 裕樹)



龍生派いけばな教室 高橋彩和社中

龍生派いけばな教室では、木曜日（昼、夜の部）の教室での楽しいお稽古を始めてから30年に及びます。吉川支部の歴史は古く、令和元年9月に支部創立80周年記念花展、式典が大崎市図書館で開催され社中も皆で出品参加いたしました。



小野田文化祭展示等、地域と共に歩んでおります。皆さんも一緒に展示してみませんか。花とのひと時と一緒に楽しみたいですね。

皆さんの入会をお待ちしています。(高橋 和子)

富士美流小野田支部

本部は中新田地区「富士美流寿々梢扇会」で、小野田支部会員は30名。宗家家元・畠山こずゑ先生のご指導をいただきながら、毎年実施の「富士美流発表会」に向けて日本舞踊のお稽古に励んでいます。みなさん踊りが大好きで、お稽古が終わった時の「ありがとうございました」の挨拶に満面の笑みが・・・いい汗かいて、心も体も“いきいき”、そんな楽しい会です。



[富士美流発表会 (バッハホール)] から

マハロおのだフラサークル

「楽しく、仲良く、美しく、アロハ！」を合言葉に、和気あいあいと練習している仲間です。

現在、メンバーは11名。山田先生の笑顔と曲の音色に癒され、リフレッシュしています。

例年は、地区的夏祭りや文化祭、サンホーム夏祭りなどに参加させていただき、マハロ！（ハワイ語でありがとうの意）。

心と体に優しいフラダンスなので、どうぞ仲間に入りませんか。(伊藤 栄子)



宮崎地区

コロナ禍の先を見据えて

宮崎地区会長

今野 茂

新型コロナに世界中が振り回された（終息はまだまだ先のようですが）一年でした。周りと距離をおかなければならぬといふ感染症特異の防衛手段が多くの事業に影響しました。皆と一緒に歌いたい、踊りたいと思つてもそれができない会員の皆さまにとって、そのフラストレーションは推察を超えるものでしよう。

しかしこんな状況だからこそ歌えること、踊れることの意味と心の豊かさを見つめなおす良いチャンスであるとも思います。文化とは耕すこと。修養すること。コロナ禍を超えた先に、ひと回り円熟を増した演技を拝見できるならとても嬉しいことです。忍び寄る高齢化もあって、必ずしも順風とは言えないかも知れないが、どうぞご健康でご活躍されることを祈ります。

活動紹介

コール白萩

月二回の練習は楽しみです。まず指導の先生は大輪の花のようにその場が華やぐ。それはいつも私達にやさしさと笑いを振りまいてくれるからです。

手足の柔軟体操や目、口など表情筋を動かしてから楽譜と向き合います。歌をうたうということは、腹の底から声を出し、仲間と楽しみながら交流するのでストレス発散に大いに役立っています。そして、歌っていると体がポカポカして血行が促進されているなど実感しております。健康寿命が延びるのでは？と期待しています。

どんな趣味の事でも言えることですが、何かを楽しんでいる人たちは共通して若々しさや活発さを感じさせてくれます。それを目標にして活動している「コール白萩」の私達です。

（代表

板垣千代子）



第38回県北合唱祭

二葉会

私達二葉会は、20年前に8人で出発しましたが、色々の事情で今は2人だけになってしまいました。ボランティア活動を主に、皆さんのが聞いた事のある曲で踊りを習っています。ボランティアでは、おじいちゃんやおばあちゃん達に「とてもよかったです。また来てね」と言われる事、喜んでもらえる事を励みに、1ヶ月2回コロナにも負けず、中新田公民館で練習をしています。年と共に中々覚えが悪いながらも、先生と3人楽しく笑顔で練習しています。



踊らとして

またいつか皆さんのグループホームや福祉センターに行けるよう頑張っています。これからも宜しくお願ひします。



施設訪問

加美町鉄魚保存会

加美町鉄魚保存会（旧宮崎鉄魚愛好会）は平成10年に発足し、会員はメール会員も含めて30人です。魚取沼の鉄魚は、昭和8年に国の天然記念物に指定されました。

加美町鉄魚保存会では、指定を受ける前に保護され、代々自宅の池で飼育し続けた方から稚魚を分けてもらい、繁殖を重ねてきました。平成19年には、DNA鑑定を行うなど魚取沼系純粹種の『保存と伝承』に努め、故郷が誇る華麗で優雅な鉄魚の魅力を全国に広める活動を続けています。

主な行事としては、5月展示会 6月鉄魚まつり 11月品評会・会員池上げです。

各行事では、鉄魚の即売会も行っています。

繁殖は、鎌田養魚場を中心、会員も純粹魚の鉄魚だけで、取り組んでいます。

今年度は、コロナウイルスの影響で各イベントは中止となりました。

（会長 鎌田 富士夫）



宮崎城を保存する会

宮崎城を「国指定の文化財にしよう」と設立した団体で、会員は17名です。

城は、大崎一の宮と言われる熊野神社の南東に位置する戦国の山城で、今から430年前の、天正19年6月24日から25日にかけ伊達政宗2万4千と笠原党を中心とした大崎・葛西・旧臣等2千とで熾烈な戦いとなった歴史のある中世の城です。

豊臣秀吉も認めた「加美のこおりの宮崎城」を、郷土の誇れる大切な文化財として、また後世に残せる歴史的価値のある遺構とすべき国の指定を目指しています。

活動は、先進地の山城を視察して保存と活用について学ぶ1泊2日の視察研修を行っています。令和元年度には福島県向羽黒山城と山形県左沢大橋城を訪問しました。

毎年9月中旬には、一般・中学生を対象にした「戦国の山城『宮崎城へいこう！』」を実施、同時に国指定後の歴史ガイド養成も兼ね、城址の他町内にある史跡巡りを行っています。

先人の築いた歴史的な遺構を保存し、地域活性化に繋げていきたいと活動しています。

身近にある郷土の歴史と一緒に探訪をしてみませんか。（事務局 渡邊 哲記）



山城保存先進地研修
於 左沢大橋城址

中新田地区文化協会加入団体一覧表

部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費
音 樂	日本民謡桃隆会中新田支部	鈴木 聖志	桃隆会の発表会、文化協会の発表会、福祉施設のボランティア活動	毎週月曜日19~21時 公民館	0229-67-6834	月2,000円
	大蔵流謡曲高砂会	工藤 力夫	謡曲講習、その他	毎月11日 寒稽古1月6日~10日	0229-63-6037	年2,000円
	中新田民謡香春会	遠藤 尚武	初心者大歓迎です	毎月第2,4火曜日	0229-63-2643	月1,500円
	コール・エーデルワイス	西塚 和恵	県おかあさん合唱祭、県北合唱祭に出場	月3回 第1,2,3月曜日	0229-63-3032	月2,500円
	コーラスこだま	伊藤 敦子	県合唱祭、町の行事に参加、演奏会開催	毎週火曜日	0229-63-4236	月3,000円
	ミュージック'74	鈴木 清人	定期演奏会と音楽振興、地域に根ざした活動	毎月第1,3金曜日	0229-63-2371	月1,000円
	混声合唱団「響」	大崎 能正	年一回定期演奏会、県北合唱祭。各種記念行事参加、他	毎週水曜日 パッハホール 19時~21時	0229-63-2704	月3,000円
	めだかの学校	後藤以和子	童謡と先生のお勧めの歌を中心に練習しています	毎月第2,4土曜日 10時~12時	0229-63-4107	年10,000円
	琴古流尺八中新田支部	高橋ススム	伝統尺八の研鑽と普及活動	第3週を除く毎木曜日	0229-63-6611	月1,000円
	琴城流大正琴愛好会	菅原 玲子	楽しく和やかに技術の向上を目指す	月1~2回	0229-63-3669	月2,000円
	都山流尺八中新田支部	青砥 正蔵	伝統尺八の研鑽と普及活動	随時	0229-63-4297	なし
	宮城岳風会加美・一本杉教場	伊藤 貴陸	吟道の練磨・向上と会員相互の親睦を図る	毎月4回(金曜日) 13:00~15:30	0229-67-6017	月3,000円
	中新田カラオケ愛好会	畠山 尚	各施設への慰問活動、パッハホールでの発表会	毎月第1土曜日	0229-67-2235	男3,000円 女2,000円
	ポレポレハーモニカサークル	手代 陽子	ボランティア演奏・各イベントに参加	月2回第1・3木曜日	0229-63-5724	月2,000円
	青空ひばりカラオケ教室	長田千代子	仲良く楽しく健康づくり、和を大切	月3回	0229-63-2243	随時
芸 能	多田川太鼓	尾形 俊治	各イベントや祭りに参加	毎月第1・3土曜日	0229-62-2134	年 5,000円 子供3,000円
	ナツメロ会青春	小丸 孝雄	パッハホールでの発表会・イベントへの参加	毎月20日	0229-63-5101	男2,500円 女2,000円
	中新田縄文太鼓伝承会	鈴木 広幸	全国各地出演	毎週水曜日	090-2990-0552	月1,000円
	四日市場甚句保存会	角田憲太郎	行事の前に練習する	随時	0229-63-6028	1戸500円
	『華・from・KAMI』	今野 盛朗	イベント出演	毎週水曜日	0229-63-2532	年12,000円 子供6,000円
	富士美流寿々梢扇会	畠山こずゑ	さなぶり、秋まつり、東北・全国大会に出演	毎週土・日曜日	0229-63-2527	1回1,000円
	中新田水木歌亮会	佐々木富喜子	歌謡曲から古典まで稽古しています	毎週火曜日	0229-67-6195	年2,500円
	扇和会	鈴木 頴子	夏祭り(中新田おどり)、秋まつり、東北大会に参加	毎週月曜日 午前10時 毎週水曜日 午後8時	0229-63-3137	月3,000円
	翔彩綺羅楽	菅野ひとみ	各種よさこいイベント出演	週1回	0229-63-4967	月2,000円
	和光流 佳穂会	星 佳友子	福祉関係のボランティア活動・2年に1回発表会	各教室月2回	0229-63-6964	月3,000円

中新田地区文化協会加入団体一覧表

部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費
美術・工芸	加美映像倶楽部	後藤 治	定例会、映写会、撮影会による知識、技術の研鑽	奇数月、撮影会の翌月 第3水18:30	渋谷吉十郎 0229-67-6245	年5,000円
	加美書人会	小川 正	書道の普及に寄与する事を目的とする	随時	0229-63-3717	年3,000円
	書道「渓山会」	大内 洋子	競書の練習、書道展・文化祭等への出展	毎月第1・4木曜日	0229-63-6880	月2,000円
	墨友会	鈴木 俊子	書道を楽しむ	第2・4水曜日	0229-63-6337	月2,000円
	書の教室O B会	浅野 静代	書の向上と親睦を図る	毎月第1・3水曜日	0229-63-4923	1回500円
	書の教室「華の会」	只野 都子	書の向上と親睦を図る	毎月第2・4火曜日	0229-63-4330	1回500円
	T E N彩会	石川 守一	秋祭り等出展	随時	0229-63-2711	月1,000円
	中新田ちぎり絵教室	佐藤いつ子	毎月1枚の絵の作成と秋祭りに参加	第1火曜日(1月除く)	0229-63-7088	年5,000円 月2,000円
	木彫りの会	芦立 良喜	主に釜神彫りと、釜神文化の伝承活動	毎月第2・4日曜日	0229-63-4973	年6,000円
	パッチワーク教室	中村貴美子	町民文化祭に出展します	第2・3・4土曜日	0229-63-2033	月1,000円
生活性文化	水彩工房	中嶋 剛毅	水彩画の制作	随時	0229-63-3020	実費
	手織りの会	早坂 智子	裂織りの布でバッグや小物を作る	毎週火曜日定例	0229-67-2251	年1,500円 材料費別
	本多純龍社中	本多 京子	茶道、華道、フラワー アレンジメントの指導	毎月第2,4火曜日	0229-63-2188	茶道月3500円 華道月3000円
	フラワーサロン 「ハーモニー」	伊藤ただ江	いけばな&フラワーデザイン教室	毎月第2金曜日、第3,4土曜日	0229-63-7155	1回1,000円
	フラワーデザイン& いけばな教室	千葉 文子	公民館の玄関内に展示と年1回の秋祭りに展示	習う方の都合に合わせます(日中)	0229-63-6009	1回花材 2,000 ~3,000円
	龍生派佐々木彩芳社中	佐々木彩芳(よし子)	公民館に展示。研究会・支部展・秋祭りに参加	毎月第2,3,4木・金曜	0229-63-4058	随時
	茶道裏千家翠会	古内 主子	茶道教室、裏千家茶道の習得	月曜日、土曜日	0229-63-2628	月5,000円
	3B体操会	加藤 瞬見	音楽に合わせて楽しく体を動かす、やさしい運動です	金19:00~21:00 土13:30~15:30	090-8926-0353	月3,000円
	中新田囲碁将棋愛好会	青木 圭	愛好者での大会	随時	0229-63-5519	随時
	加美盆栽会	高橋 宗幸	春秋の展示会、先進地への研修旅行	随時	0229-63-2204	年2,000円
文芸	加美太極拳 三鈴	本間 裕子	健康づくり	毎週火・金曜日	0229-63-2980	月2,000円
	加美鳴瀬太極拳	橘 真己	太極拳から武器まで多種目を広く学ぶ	鳴瀬毎週水曜日19:00 小野田毎週火曜日	0229-63-6057	月3,000円
	健康ダンス愛好会	高橋 清子	レクダンスで楽しく(健康と仲間づくり)	毎月第1,2,4木曜日	0229-63-6925	年6,000円
	アロハ・フラ・モキハナ	小笠原悦子	フラで健康づくり ボランティア活動	毎月第1,3月曜日	0229-63-2677	月2,500円
文芸	やさしいヨガ教室	桧野 裕子	心身の健康維持	毎週火曜日 19:00~20:00	0229-63-3729	1回500円
	まほろば短歌会	鈴木ヨシ子	先に歌三首提出し決まった日時に歌会を持つ	毎月第1土曜日 13:00~15:00	0229-63-4523	月300円
	「秋」中新田句会	小野 裕子	月一度定例句会 吟行会、展示参加等	毎月第3水曜日 9:30~12:00	0229-62-2135	月1,500円

小野田地区文化協会加入団体一覧表						
部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費
音 樂	小野田地区大蔵流謡曲保存会	大山重太郎	地区の秋まつり等にて発表	予定なく、その都度実施	0229-67-6134	随時
	互礼二カラオケ愛好会	小松 麗哉	さなぶり大会・秋まつり、大崎の大会	月4回 薬師の湯カラオケ	0229-67-2188	随時
	小野田菜鳴太鼓鍊心会	柴田 幸信	各種イベント等	毎週水、金曜日	0229-67-2046	年2,000円
	都山流尺八教室唱山会	西塙 敏也	町内各イベント、鹿島台幼稚園、文化祭等	毎週木曜日 19:00~20:30	0229-67-2444	月1,000円
	大正琴せせらぎ会	斉藤 豊子	月2回の稽古と年1回の発表会	月2回	0229-67-2355	月3,000円
	やくらいハーモニー	橋本あき子	イベント、ステージ発表ボランティア	第1,3月曜日（月2回）	0229-67-3459	月2,000円
	おのだ童謡を歌う会	澤田せつ子	県北合唱祭等年4~5回発表会	毎月第2・4火曜日	0229-67-2279	月1,500円
	みんなの会	佐藤 勝美	ボランティア、イベント、チャリティ等	毎週木曜日 18:00~21:00	090-6786-6233	1回500円
	小野田民謡福声会	高橋久美子	文化祭等に参加	随時	0229-67-3721	随時
芸 能	富士美流小野田支部	古内やえ子	日本舞踊の稽古	個人レッスン	0229-67-6556	随時
	日本國風流詩吟の会	伊藤 真夫	詩吟の稽古	随時	0229-67-2428	随時
	小野田地区獅子舞保存会	松倉 裕樹	獅子舞の伝承保存	随時	0229-63-5400	随時
	三輪流神楽保存会	浅野 勝行	三輪流神楽の伝承	随時	0229-67-3619	3,000円
	青野田植踊り保存会	青木 文子	田植踊りの伝承保存	随時	0229-67-2286	随時
	月崎田植踊り保存会	佐々木照義	田植踊りの伝承保存	随時	0229-67-6077	随時
	すみれ会	高嶋 信子	春祭り、秋祭り等に参加しています	月に2~3回位です	0229-67-3624	随時
	小野田甚句保存会	伊藤 照子	町のイベントやくらい春祭り等に参加	イベントの前に練習	0229-67-6503	随時経費等徴収
	せせらぎ3B	佐々木やすゑ	3種類の道具を使い健常体操をする	第2,4土曜日 10~12時	0229-67-6181	月1,500円
	こすもす会	大枝 春代	各種イベント及び施設訪問等	月に4回位	0229-67-2488	随時
	マハロおのだフラ	伊藤 栄子	発表会・ボランティア出演	月2回	0229-67-2439	1回1,000円
	安来節保存会東北支部加美部会	菅原 輝雄	秋まつり参加	随時	0229-67-3410	随時
美術・工芸	小野田パレット会	小山 俊一	絵画製作と展示	随時	0229-67-3411	随時
	書の教室 澄香社	伊藤ひと子	書作品の制作・練習	月3回	0229-67-2428	月3,000円
	書心会神仙支部小野田地区	工藤 勝義	書作品の制作・練習	随時	0229-67-3543	随時
	りんどうの会	橋本あき子	作品の作成・展示	随時	0229-67-3459	随時
	かのはら趣味の広場	信夫ときわ	作品の作成・展示	随時	0229-67-2495	随時
	たんぽぽの会	大累 治子	作品の作成・展示	随時	0229-67-2707	随時
生活文化	潮式挿花華道教室	佐藤真由美	秋祭り等出展	随時	0229-67-2324	実費
	龍生派いけばな教室	高橋 和子	年齢層広く楽しくいけばなをしています	毎週木、土 その他応相談	0229-67-2523	実費
	草月流華道教室	矢瀧 幹子	各種イベントへの参加	随時		随時
文芸	せせらぎ俳句会	伊藤 真夫	自然風土と温かい人間との絆を俳句に	毎月第3月曜日句会	0229-67-2428	年8,000円
民俗歴史	小野田地区文化財友の会	伊藤 雄一	県内文化財めぐりと保護活動	文化財めぐり随時	0229-67-6687	年1,000円
	薬萊登山愛好会	板垣 彦	登山及び史跡探訪	5月~12月の8の日 薬萊登山、探訪	0229-67-5114	年会費・保険料 1,800円

宮崎地区文化協会加入団体一覧表						
部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費
音 樂	賀美石大正琴愛好会	板垣 静江	大正琴の音色、弾く楽しさをあじわう。	毎月2回	0229-67-6777	月2,000円
	コール白萩	板垣千代子	さなぶり大会やディサービス活動	第1,3金曜日	090-5180-0563	月1,000円
	民謡竹声会	高橋 哲雄	民謡、尺八教室	毎月第1,3月曜日	0229-63-5831	月1,000円
	宮崎詩吟の会	後藤 庄悦	漢詩・和歌を力いっぱい吟じます	随時	0229-67-6755	実費
芸 能	宮崎婦人会踊り教室	鈴木芙美子	日本舞踊水木流の踊りを練習	月3回 土曜日	0229-69-5286	月1,500円
	宮崎獅子舞保存会	今野 武敏	宮崎小学校にて演舞指導	随時開催	宮崎公民館 0229-69-5123	なし
	米泉獅子舞保存会	高橋 康雄	鎮守の森神社を中心に活動	毎夏	0229-63-5831	年1,000円
	鳥屋ヶ崎獅子舞保存会	伊藤 良博	獅子舞の神輿巡業と後継者の育成	八幡神社祭礼前に練習	0229-67-6810	年3,000円
	北川内神楽保存会	遠藤 政勝	神楽の普及伝承、地域世帯間の交流	毎月第1土曜日	0229-69-5440	なし
	旭せせらぎ踊りの会	畠山 明美	年1回の発表会に向けての練習	週1回程度	0229-69-5725	月3,000円
	下小路一秋田おばこ踊り保存会	鹿野美智子	各種イベントへの参加、ボランティア活動	月1回 随時	0229-69-5105	年1,000円
	ほがらか会	三浦 満	歌に合わせて舞う	毎週木曜日 (公民館)	0229-67-6704	月2,000円
	宮崎水木歌亮教室	石垣 順子	日本舞踊水木流の踊りを練習	月3回 土曜日	0229-69-5478	月1,500円
	宮崎婦人会レクダンス教室	米沢 幸子	さなぶり大会で発表	4月~11月第4火曜日	0229-69-5488	年1,500円
	ダイヤモンドガールズ	佐藤 昌子	フラダンスの愛好	随時	0229-67-6729	年1,000円
	二葉会	尾形つぎ子	歌に合わせて踊る	月2回土曜日	0229-69-6286	月3,000円
	賀美石3B教室	千葉 朝子	音楽に合わせて体のストレッチ	第1・3火曜日	賀美石地区公民館	月1,500円
美 術 ・ 工 芸	渓彩会	後藤 庄悦	写生会の開催・会員募集中	随時	0229-67-6755	実費
	ステージクラブSTEP	庄司 新寿	各種イベントのビデオ撮影	随時	0229-69-5797	実費
生 活 ・ 文 化	宮崎婦人会折り紙教室	松本登美子	文化祭の展示、女性学級の折り紙指導	毎月第2・3火曜日 10時~	0229-69-5219	なし
	デコパージュ(シャドーボックス)	飯島 敬子	同じ絵を5枚切り抜いて、立体的に仕上げる	第1月曜日 13時~15時	0229-67-3865	実費
	賀美石婦人会	本多 洋子	手芸教室	随時	賀美石地区公民館	随時
	鉄魚愛好会	鎌田富士夫	春秋の展示会、品評会	随時	0229-67-6379	年5,000円
	みやぎの山野草愛好会	斎藤 昭夫	山野草の栽培と研究	随時	0229-69-5107	随時
	宮崎盆栽会	池田 胞夫	栽培と研究	随時	0229-69-5761	随時
	フラワーアレンジメント	佐藤千鶴子	四季折々のアレンジ	随時	0229-67-6758	月3,000円
	CLUBエクセレント	今野 茂	パソコンライフをエクセレントに	随時	0229-69-5414	実費
文 芸	白萩短歌会	工藤 勝義	短歌を詠み合って創作に励んでいます	月に1回	0229-67-3543	年1,000円
歴 史	加美町史遊会	渡邊 哲	史跡めぐり・視察研修・現地研修	随時	080-6028-6100	実費
	古代都市賀美石を考える会	斎藤 昭夫	講師を招いての講演等を開催	随時	0229-69-5107	随時
	宮崎城を保存する会	庄司 幸保	講師を招いての講演等を開催	随時	0229-69-5405	実費

令和3年度行事予定

令和3年

4月17日 加美町文化協会総会

6月 6日 宮崎地区さなぶり大会

7月24日～25日

第16回加美町さなぶり大会

10月 加美町文化協会研修会

10月 第24回みやぎ県民文化祭

10月23日～24日

小野田地区文化祭

11月 7日 宮崎地区文化祭

月 日 中新田地区文化祭・加美町秋
祭り同時開催

令和4年

3月 1日 文化協会だより第19号発行

加美町文化協会役員名簿

役職名	氏名	地区	部会
顧問	遠藤尚武		
会長	伊藤真夫	小野田	統括
副会長	畠山こずゑ	中新田	事業部
副会長	今野茂	宮崎	広報部
幹事	大崎能正	中新田	総務部
々	加藤繩見	中新田	事業部
々	佐々木照義	小野田	総務部
々	高嶋信子	小野田	事業部
々	伊藤良博	宮崎	広報部
々	畠山明美	宮崎	事業部
事務局	古内やへ子	加美・中新田	総務部
々	信夫ときわ	小野田	総務部
々	庄司新寿	宮崎	総務部
監事	3名		
理事	18名		



◆編集委員

渡 飯 佐 板 畠 鈴 伊 畠 伊 今
邊 島 藤 垣 山 木 藤 山 藤 野
敬 真 京 ヨ 良 こ づ ゑ 真
哲 子 美 彦 子 博 ふ ま ふ 茂

文化協会の団体に於いても、活動の機会もなく、練習すら出来ない日々が続いている。活動報告の原稿を書くのもままならない所、皆様には大変ご苦労をおかけしましたが、何とか「第十八号文化協会だより」を作成することができました。

コロナ禍の今ですが、広報をご覧頂き、いろいろな団体がございますので、どうぞ仲間に入って楽しもうではありませんか。そして、次の若人に文化活動を継承していきたいと思います。

令和の時代に入り、「オリンピック」も開催されるしと、ワクワクして新年を迎えました。しかし、年明け頃からコロナ禍となり、地球全体が私どもが経験したことのない事態に陥り、イベントも、いつもの生活すら、自粛、中止となってしまいました。

編集後記

令和元年 加美町文化功労賞・ 文化奨励賞受賞者

《文化功労賞》

- | | |
|----------------|--------|
| 1 潮式挿花小野田華道教室 | 佐藤 真由美 |
| 2 せせらぎ俳句会 | 松本 哲郎 |
| 3 宮城岳風会加美一本杉教場 | 伊藤 文子 |
| 4 ナツメロ会青春 | 小丸 孝雄 |
| 5 健康ダンス愛好会 | 高橋 清子 |
| 6 書道渓山会 | 大内 洋子 |
| 7 四日市場甚句保存会 | 角田 憲太郎 |

《文化奨励賞団体》

○菜鳴大鼓鍊心会ジュニア

第8回東北大会ジュニアコンクール出場

文化協会会員の募集

加美町文化協会には、現在120団体が加入しており、会員相互の連携や協調を図りながら、加美町の芸術文化の向上及び伝統芸能の継承を目的とした活動を展開しています。熱意ある積極的な方々の入会を心よりお待ちしています。

申込み方法

※文化協会加入の年会費は団体会員・個人会員共に2,000円です。

※入会申し込みは各地区の会長に連絡して下さい。

小野田地区会長 伊藤 真夫 ☎67-2428

中新田地区会長 畠山こずゑ ☎070-5626-9158

宮崎地区会長 今野 茂 ☎090-7666-5056